

# 二上山の自然

## 3

### 二上山の鉱物

#### ◆小説の舞台と二上山の鉱物

有名作家の五木寛之氏が著した民俗的な色彩の濃い作品『風の王国』の前半部に、この作品上重要な舞台となる二上山のことが書かれています。主人公の速見卓が自分の学校だという中華料理店のマスター趙さんに、二上山について教えられるシーンです。

「コランダムは赤いのがルビー。青いのがサファイア。日本ではサファイアは出ないというね。学者もそう書いている。でも、むかし、二上山からサファイアとれた。これ嘘じゃないよ」

「どうしてそんなにいろんな石が出るんですかね。二上山からは」  
ほかに客がないのをさいわいに、速見は趙さんに質問した。

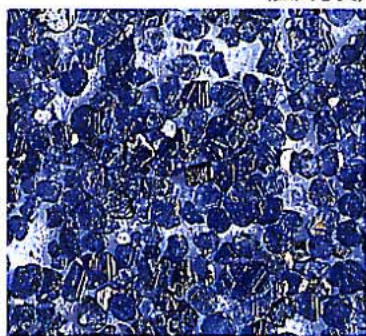
「それは二上山が火山だったから」  
さらにこの後、二上山からは他にサヌカイト、金剛砂、松香石などが出るとも書かれています。

二上山から採取されるさまざまな鉱物については、昔からよく知られていたのですが、この小説にはそれがストーリーリーとして簡潔に書かれていて、だれが読んでも大変分かりやすくなっています。

〈拡大写真〉



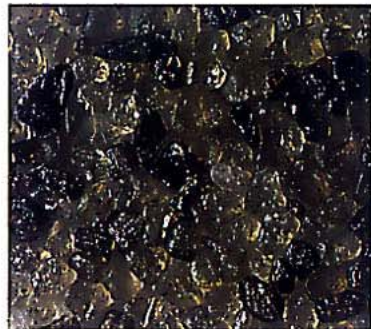
シリコン



サファイア



ザクロ石



頑火輝石



紅柱石

#### ◆鉱物の宝庫の二上山

香芝市の伝統産業に用いられる金剛砂は、ザクロ石の仲間、ガーネットと呼ばれる宝石の一種です。

ザクロ石は変成岩や火成岩の中、または堆積した砂の中に含まれる鉱物で、色や形が「ざくろ」に似ているところから名がついています。その結晶体は鉄分やカルシウム、マンガンの成分からなっていて、その成分によって種類や色が異なります。

ザクロ石は古代エジプトの時代から宝石や装飾品などに利用されているように、私たちに馴染み深い鉱物の一つです。現在でも、深紅色でホヘミアガーネットなどと呼ばれる苦礬ザクロ石、エメラルドグリーンをしたウバタイト（灰クロムザクロ石）などは宝石として貴重なものとなっています。

二上山のザクロ石は、石切場火山岩が風化流出して堆積した砂礫の中に含まれています。他にサファイア、石英、ジルコン、ニグリン、十字石、頑火輝石、珪線石、紅柱石などの多くの鉱物が含まれています。

それはなぜでしょうか。答えは前述の『風の王国』の文中にありましたね。